名城大学大学院理工学研究科機械システム工学専攻の名称の変更について（届出）

平成２８年４月２６日

文　部　科　学　大　臣　殿

学校法人　名　城　大　学
理事長　小 笠 原　日 出 男

このたび、下記の事項について、学校教育法施行規則第２条の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。

記

・名城大学大学院理工学研究科機械システム工学専攻の名称の変更（機械工学専攻）

以　上

変更の事由及び時期を記載した書類

フリガナ 設置者	ガッコウホウジン　メイジョウダイガク 学校法人　名城大学
フリガナ 大学の名称	メイジョウダイガクダイガクイン 名城大学大学院
大学本部の位置	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
届出の内容	研究科の専攻の名称変更 （現在の名称） 理工学研究科 英訳名 (Graduate School of Science and Technology) 機械システム工学専攻 英訳名 (Division of Mechanical Engineering) → （変更後の名称） 理工学研究科 英訳名 (Graduate School of Science and Technology) 機械工学専攻 英訳名 (Department of Mechanical Engineering)

届出学部等の概要	届出学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	変更時期及び対象年次	所在地
	理工学研究科 機械工学科	年 2	人 24	年次 人 －	人 48	学士 （工学）	平成29年4月 第1年次	愛知県名古屋市 天白区塩釜口一丁目 501番地

（1）名称変更の事由

近年、機械工学分野は、機械・機械システムだけではなく、環境、エネルギー、医療と多岐にわたり、ボーダーレスに展開される経済的・社会的ニーズに対して迅速かつ柔軟に対応できる人材の養成が必要である。そのため、拡大する機械工学分野の基盤となる学問領域に焦点化したカリキュラムを編成し、人材養成目的である「国際化する社会・経済活動に順応するための素養と機械工学の専門領域の知識と考え方を植え付け、問題設定と解決が可能な技術者ならびに研究者を育成する」ことで、地域に貢献する人材を輩出する必要がある。さらに、新設予定のメカトロニクス工学専攻の教育研究領域と差別化し、卒業後の進路が幅広いものづくり基幹産業分野であることを受験生、企業に対して明確にする必要がある。

以上の観点から、機械システム工学専攻から「機械工学専攻」へと名称変更することで、それに基づく人材養成目的の達成、地域への人材輩出、そして本専攻の特徴を外部に分かりやすく伝えることを目的とする。

なお、基礎となる名城大学理工学部機械システム工学科を、平成25年4月から機械工学科に名称変更している。機械工学科の在校生が大学院に進学し始める平成29年4月の入学生から新専攻名称を適用し、旧名称である機械システム工学科の出身者が多い平成28年度以前の入学生は現在の専攻名称を使用する

ものとする。

（２）名称変更の時期

平成 29 年 4 月 1 日

（３）在校生への対応

変更後の専攻名称の適用は、平成 29 年度入学生からとする。したがって、留年者も含めた在校生に対しては、従前の専攻名称（機械システム工学専攻）を適用し、授与する学位（修士（工学））にも変更は生じない。このことは、名称変更後速やかにガイダンスを開催し、併せて指導教員から説明し理解を得る予定である。また、名称変更に係る保護者への周知についてもホームページ、大学通信等広報媒体を活用して説明周知し理解を得る予定である。